

大泉第二中学校の教育目標

- よく考える人になろう
- 進んで行動する人になろう
- 責任感の強い人になろう
- 豊かな心をもった人になろう

- 人間尊厳の精神、人権教育および豊かな心の育成を図る。
- ソーシャルスキルトレーニング(対人関係や集団行動を上手に営んでいく技能)などの実践的な対応を身につける。
- 授業を始め学校行事や部活動など子供を主体的に活動させ、互いに支えあい活動の場を与え、生徒に所属感をもたせ自尊感情を高める。
- 学校行事や部活動などに生徒の個性や能力を生かし発揮させる。
- 近隣小学校と生徒同士、教員同士の連携を計画的に実施する。

大泉第二中学校の状況と区立中学校平均

項目	大泉第二中学校	区立中学校平均
生徒数	575名	404.4名
学級数	16学級	11.9学級
校地面積	18,919㎡	15,935㎡
校舎面積	6,015㎡	5,653㎡
運動場面積	10,639㎡	8,948㎡
体育館面積	699㎡	1,009㎡

大泉第二中学校の特色

特色 1

「燃える大二中」という言葉がある通り、体育祭、合唱コンクール、文化発表会(美術・演劇)を始め様々な活動で生徒が一丸となって取り組んでいる。

特色 2

部活動も盛んで吹奏楽部は東京都コンクールで金賞を受賞
他にソフトテニス部、男子バレー部、剣道部は都大会出場

特色 3

練馬区中学校駅伝大会4連覇(男子)
練馬区中学校駅伝大会3連覇(女子)

特色 4

学習活動・部活動・行事の3つの活動を軸にしたバランスのとれた人間教育
知 — 確かな学力
徳 — 豊かな心
体 — 健やかな体

大泉第二中学校で考慮する教育施設の機能等

(1)教育環境の向上

学校行事や部活動が盛んなことから、生徒が活力ある学校生活を送れるよう、校庭や体育館など各施設の教育環境の向上に努める。
また、緑の多い地区から、桜など樹木(緑に)囲まれた校舎にする。

(2)施設配置にあたっての配慮

校長室、職員室、保健室等の管理室を近接に配置し、教職員の効率的な連携を可能とするとともに、生徒の見守り体制を確保する。教室や校庭については、近隣環境や日照に考慮し、配置する。

(3)求められる教育環境への対応

- ①普通教室は、生徒数・学級数の推計値に基づき必要数を設けていく。
- ②特別教室は、現在の使用状況を踏まえて必要な科目と教室数を確保していく。
- ③少人数学習に活用する教室を各学年1教室設けていく。
- ④図書室にICT学習や調べ学習のスペースを整備していく。
- ⑤学年単位の教育活動や小中連携教室、ランチルームなど多目的な利用に対応できる教室を設けていく。
- ⑥教育相談室、エレベーター、だれでもトイレを設置していく。

(4)その他

- ①避難拠点運営が円滑に行えるよう、改築にあわせて体育館や防災備蓄倉庫を地上階に整備していく。
- ②練馬区エネルギービジョンに基づき、可能な限り分散型エネルギー設備、LED照明や雨水を利用したトイレなど省エネルギー型設備を導入していく。
- ③敷地の緑化、屋上緑化、壁面緑化を進めていく。

求められる将来像